

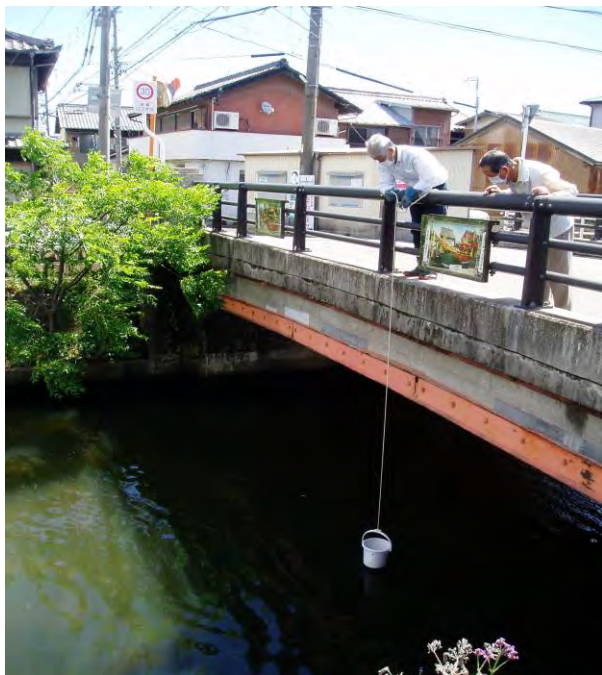
環境技術研究所ニュース：

環境技術研究所が市内富田地区の十四川と市西部の鎌谷川を調査

2022年6月7日（火）の午前中に武本研究所長と高橋研究員らの環境技術研究所が富田地区の十四川を調査しました。10年ほど前から富田地区市民センターや「十四川を守る会」の稲垣さんらと共同で調査しています。まだ、梅雨期に入っていない時期で、秋や冬には中下流部の北觴町からは朝明川からの導水をしています。今回は田植え期直後ではありませんでした。前日の大雨で、中下流の流量は多めでした。中流部のスーパーサンシ付近でも、流量は多めで、かつ家庭・飲食店や田畑からの排水流出があり、有機汚濁が認められ藻類が川床に繁茂し、窒素分やCOD（化学的酸素要求量）値はやや高めでした。河口付近の豊栄橋では、樋門が閉まっており流れが滞留し、底は見えないぐらいの水深がありました。

また、6月8日は午前中に、内部川の支流で上中流部の西山地区を中心とした鎌谷川の調査は、今回は西山町自治会の方々とは一緒には行われませんでした。上流の廃棄物処分場跡地からの浸出水や、茶畑や流域家庭の排水がこれらの水系の汚染を起こしていることから、本学に共同調査依頼がありここ7～8年来実施されています。

鎌谷川の流域には廃棄物最終処分場（安定型、2008 頃に事業終了）と廃土埋立場（2014 年に事業終了）があるほか、廃棄物の中間処理施設があり、ここからの浸出水流出や、粉じんの飛散による汚濁が懸念されています。建設廃土埋立場の跡地には太陽光発電施設と牛牧場が建設され、牧場からの排水や悪臭が問題となっています。



十四川最下流部の豊栄橋で採水作業、滞留中



近鉄線路(右側)下の十四川はやや流れあり



北鵜町ごみ置き場から上流を見る。朝明川導水なし、流量は多め



富田山城道路沿いの中流部サンシの下流では藻類繁茂中



十四川上流部の畑作地帯は用水路で流量は若干あり



鎌谷川上流部・水沢町内での採水作業（上が 2022 年、下が 2016 年）



西山町内の廃棄物処分場跡地からの湧水調査



鎌谷川中流部・希望(のぞみ)産業の直下流で



鎌谷川へ注ぐ小水路・遠方は牛牧場(上は 2022 年、下は 2016 年)



鎌谷川下流部：遠方に小山田温泉記念病院